

第 1 回検討会における主なご意見とその対応

No.	ご意見	資料への反映
1	<p>姫路港における耐震岸壁の必要整備量については、家島諸島についても考慮する必要がある。</p> <p>一般的な耐震岸壁だと、緊急支援物資の荷揚げだけを考え、物資を移出することは余り考えていないと思われるが、姫路港の場合、家島諸島への物資の移出や、人の行き来のために旅客船を着岸させる必要が出てくる可能性がある。</p>	<p>家島諸島への物資の移出を考慮し耐震岸壁の必要整備量を算出。（今回資料 2 P 8）</p> <p>人の移動についても耐震岸壁で対応することを想定。ただし、既存の旅客船施設は浮棧橋であるため、被災後、軽微な修繕で使用可能と考える。</p>
2	<p>P 3「交流・生活編」で「港と内陸部市街地のアクセス利便性の向上を促進」とあるが、これを実施する際、立地適正化計画との関連づけが必要になってくる。姫路市では昨年から、この計画の策定に着手されているとのことでしたので、その都市計画的な観点とこの港湾計画の観点を結びつけるように検討いただきたい。</p>	<p>姫路市の立地適正化計画については来年度の策定予定であるため、その進捗状況や内容も可能な限り踏まえて港湾計画を検討。</p> <p>なお、立地適正化計画においても、姫路港を家島諸島へのアクセスポイントとして引き続き位置づける予定と聞いております。</p> <p>立地適正化計画：都市全体を見渡した土地利用のマスタープランであり、新たに都市全体の観点から居住機能や福祉・医療・商業等の都市機能の立地誘導による「コンパクトなまちづくり」を進めるための計画</p>